

知る、遊ぶ、和の心を楽しむ新幹線車内誌

ひとととき

hi

to

toki

5

2013

ご自由に
お持ち帰りください

特集 世界文化遺産登録も間近！

夏前に、富士の麓めぐり

山好きで知られるドイツ文学者・池内紀さんがゆるゆるめぐる「水の山」

渡辺淳一 エッセイ・老いの処方箋

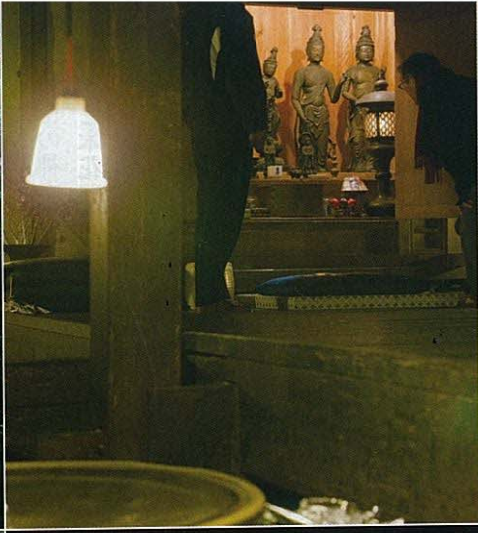
明治工芸の精華、芝山細工

藤原氏の開拓者精神

— 多賀城と幻の都市遺跡

東海道・山陽新幹線時刻表付





上右/富士高砂酒造の屋号「中屋」の看板。店内に大事に掲げられる上中/薬師蔵という酒蔵の2階に安置される「富士山下山仏」。明治時代の神仏分離により、富士山の浅間神社から密かに引き取り、ここに隠され、今は酒造工程を見守る。見学には事前予約が必要 上左/仕込み水に富士山伏流水を使用しているとの立て札 中左/敷地内の仕込み水のくみ出し口。かたわらに水神を祀る。仕込み水は米を洗い、また醸造時に原料となるなど、すべての酒造工程で重要である 中右/本宮浅間大社のすぐ西側にある富士高砂酒造の店前 下/案内の金田憲生さんから「富士の水は軟水で、口当たりがやさしいです」と聞きながら試飲を楽しむ池内さん

